

ネイティブヒトカテプシンB

Cat. No. NATE-0168

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 カテプシンBは、プロカスパーゼ1およびプロカスパーゼ11を切断し、ジゴニン透過性細胞においてアポトーシスを誘導することが発見されています。カテプシンBの細胞質から核への移行は、胆汁酸によって誘発されるラット肝細胞のアポトーシスに寄与します。PC12細胞におけるカテプシンBのレベルは、アポトーシスが誘導された後、12から24時間で有意に減少します。

別名 CTSB; カテプシンB; カテプシンB1; APPS; CPSB; EC 3.4.22.1; 9047-22-7; カテプシンII; CatB

製品情報

種	人間
由来	人間の肝臓
形態	50 mM 酢酸ナトリウム、pH 5.0、1 mM EDTAで凍結
EC番号	EC 3.4.22.1
CAS登録番号	9047-22-7
活性	>= 200 ユニット /mg タンパク質
代謝経路	抗原処理と提示、特定生物のバイオシステム; 抗原処理と提示、保存されたバイオシステム; 免疫系、特定生物のバイオシステム; 自然免疫系、特定生物のバイオシステム; リソソーム、特定生物のバイオシステム; リソソーム、保存されたバイオシステム; トール受容体カスケード、特定生物のバイオシステム
機能	システイン型エンドペプチダーゼ活性; システイン型ペプチダーゼ活性; キニノゲン結合; ペプチダーゼ活性; ペプチド結合; タンパク質結合
単位定義	1単位は、40°Cで100 mM Na/Kリン酸緩衝液 (pH 6.0) を使用し、1.33 mM EDTAおよび2 mM DTTを活性化バッファーとして用いて、1分間に1μmoleのZ-Arg-Arg-ベータ-ナフチルアミドを加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 <= -70°C